能美古墳群保存整備事業

能美古墳群に関する記述は、江戸時代の寛政 11 年（1799 年）に加賀藩の富田景周（とだかげちか）によりまとめられた『越登賀三州誌（えっとがさんしゅうし）』が初出と考えられ、古墳の存在は古くから知られていたようです。古墳の詳細が明らかになったのは戦後の発掘調査によるもので、昭和 26 年（1951 年）に能美古墳群で初めて調査が実施された和田山1・2号墳では、当時としては珍しい六鈴鏡（ろくれいきょう）や鈴付銅釧（すずつきどうくしろ）などが出土し、一躍全国的な古墳群となりました。

しかし、昭和 30 ～ 40 年代には、高度経済成長に伴う大規模開発により丘陵が次々と削り取られ、古墳群が消滅の危機に瀕しました。この時、地元住民や北陸の考古学者を中心とした懸命な保存運動が行われ、現在に至る保存への道が開かれました。昭和 45 年（1970 年）には寺井山が県史跡に、昭和 50 年（1975 年）には和田山・末寺山が国史跡に指定され、史跡公園として古墳の保護が図られました。

さらに昭和 59 年（1984 年）には秋常山で北陸最大級の前方後円墳が発見され、平成 11 年（1999 年）に国の史跡指定、平成 23 年（2011 年）に整備工事が完了し、様々な活用も行われています。

平成 25 年には能美古墳群が一体的な国史跡に指定され、能美市では現在、西山古墳群を中心とした保存整備事業を進めています。

能美古墳群の調査と保存

和田山２号墳埋葬施設

1951（昭和 26）	上野与一氏の指導による和田山１・２号墳の調査。
1958（昭和 33）	同氏の指導による末寺山５・７号墳の調査。
1964（昭和 39）	同氏の指導による西山１・３号墳、和田山５・９号墳の調査。
1965（昭和 40）	土取りによる古墳群消滅の危機が迫る。
1967（昭和 42）	「北陸の遺跡を守る会」結成。
	辰口教委が西山５・８・９号墳、６・12 号墓を緊急調査。
1968（昭和 43）	西山古墳を守る会結成。
	寺井町教委が和田山古墳群の緊急調査。
	寺井町・辰口町教育委員会『能美古墳群調査概要』刊行。

和田山の土取り状況

1970（昭和 45）	寺井町教委が寺井山５・６号墓を調査。
	寺井山遺跡（同５・６号墓）が県史跡に指定される。
1975（昭和 50）	和田山・末寺山古墳群が国史跡に指定される。
1977（昭和 52）	史跡和田山・末寺山古墳群環境整備事業始まる。
	史跡整備に伴う調査開始（～ 1981 年度）。
1983（昭和 58）	史跡和田山・末寺山古墳群環境整備事業完了
1984（昭和 59）	寺井町立歴史民俗資料館竣工。
	河村好光氏と金沢大学考古学研究会が秋常山１号墳を発見。
1992（平成４）	寺井町教委による秋常山古墳群の発掘調査開始（～ 1997 年度）。
1996（平成８）	寺井町教育委員会『寺井町秋常山古墳群』刊行。
	フォーラム「秋常山古墳の謎にせまる」開催。
1997（平成９）	寺井町教育委員会『加賀 能美古墳群』刊行。
1999（平成 11）	秋常山古墳群が国史跡に指定される。
2001（平成 13）	秋常山古墳群の史跡整備に伴う調査開始（～ 2009 年度）。
2004（平成 16）	秋常山古墳群の保存整備工事開始。
2007（平成 19）	西山古墳群詳細分布調査開始（～ 2010 年度）。
2011（平成 23）	秋常山古墳群保存整備工事完了。
	能美市教育委員会『史跡秋常山古墳群』・『西山古墳群』刊行。
	秋常山古墳群保存整備完成記念シンポジウム・特別展開催。
2013（平成 25）	和田山 23 号墳出土品に国内最古の刻書須恵器を確認。
	能美古墳群が一体的な国史跡に指定される。
2020（令和 2）	能美市立歴史民俗資料館が閉館する。
	能美ふるさとミュージアムが開館する。

秋常山１号墳の発掘

和田山 23 号墳の発掘

施設インフォメーション

能美古墳群のうち、寺井山・和田山・末寺山・秋常山は史跡公園として整備されており、自由に古墳を見学することができます。西山につきましては未整備のため見学の際はご配慮をお願いいたします。秋常山では、葺石や埴輪の復元とともに、２号墳の埋葬施設が見学できる展示室を設けています。出土品は能美ふるさとミュージアムでご覧いただけます。

□秋常山２号墳埋葬施設展示室
開館時間）午前 9 時～午後 5 時　※12・1・2月は冬期閉鎖

□能美ふるさとミュージアム
開館時間）午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
休 館 日）毎週月曜日、第３火曜日（休日の場合は翌日休館）
年末 12 月 28 日～1月4日
住　　所）能美市寺井町を１番地１　TEL 0761-58-5250

能美古墳群 交通案内

【電車・バス】 能美根上駅よりコミュニティバス「のみバス」乗車
「能美ふるさとミュージアム」
小松駅より小松バス乗車（20分）「寺井史跡公園」
金沢駅より北鉄バス乗車（60分）「寺井史跡公園前」下車
【自 動 車】 北陸道 能美根上スマートIC降下、東へ約20分

アクセスマップ

能美古墳群にかんするお問い合わせ

能美ふるさとミュージアム　〒923-1121 石川県能美市寺井町を1番地1　電話 0761-58-5250　FAX 0761-58-5251

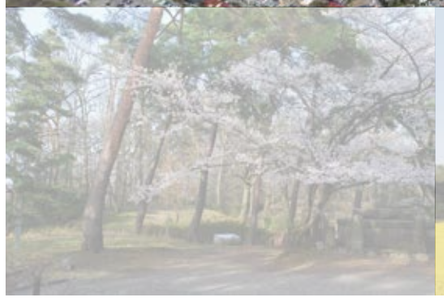
寺井山古墳群　和田山古墳群　末寺山古墳群　秋常山古墳群　西山古墳群

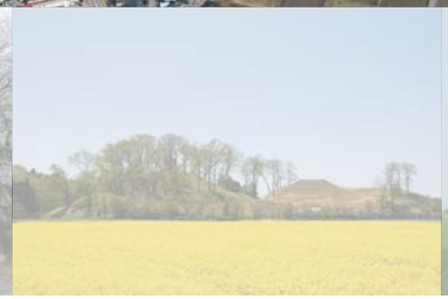
古に眠る能美の首長墓

国指定史跡 能美古墳群

寺井山古墳群・和田山古墳群・末寺山古墳群・秋常山古墳群・西山古墳群

A National Historical Site The Nomi Mounded Tomb Group





「古墳」とは、今から約 1600 年前の「古墳時代」に土を盛り上げて造ったお墓です。古墳には当時のムラや地域一帯を治めた有力者たちが葬られました。

能美古墳群は、能美市の平野部に島状に浮かぶ５つの独立丘陵上に分布する古墳の集まりです。各丘陵の名称をつけて、それぞれ「寺井山古墳群」、「和田山古墳群」、「末寺山古墳群」、「秋常山古墳群」、「西山古墳群」と呼び、全体をもって「能美古墳群」と総称しています。

能美古墳群には、北陸最大級の前方後円墳である秋常山１号墳をはじめ、大小さまざまな墳丘とともに、北陸地方では希少な副葬品も数多く出土しており、当時、能美の地域一帯を治めた首長たちの特別な墓域であったと考えられます。

能美古墳群は、当時の政治状況や文化など北陸地方の古墳時代史を語るうえで極めて重要な古墳群であることから、平成 25 年 10 月 17 日に一体的な古墳群として国史跡に指定されました。

Teraiyama　Wadayama　Matsujiyama　Akitsuneyama　Nishiyama

能美古墳群の特徴

５つの独立丘陵を利用した立地

能美古墳群ではこれまでの調査によって 62 基の古墳が見つかっており、早くに消失した丘陵部の古墳を含めると 80 基以上の古墳群であったと推測されます。古墳は南北１km、東西２km の範囲にまとまる5つの独立丘陵上に分布しており、海に浮かぶ島のような独特の歴史的景観を形成しています。古墳時代には、能美の首長たちが代々眠る特別な場所として認識されていたと考えられます。

能美古墳群の基数

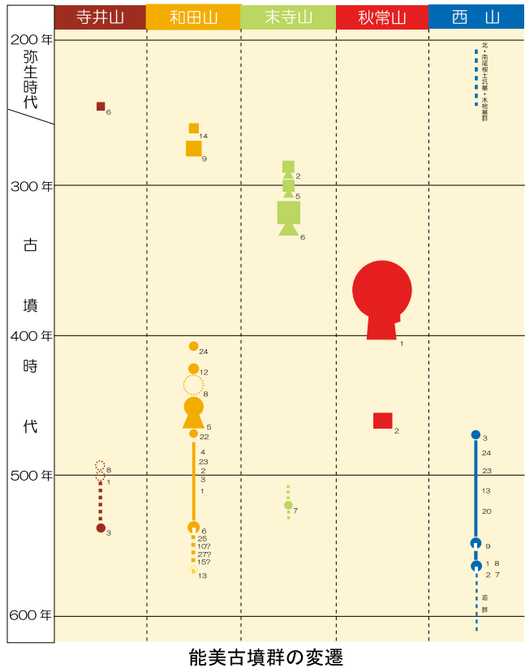
	前方後円墳	前方後方墳	円墳	方墳	墳形不明	計	弥生墓
寺井山			1（1）		6（0）	7（1）	1（1）
和田山	1（1）		14（13）	2（2）	6（3）	23（19）	
末寺山		3（3）	6（6）		3（0）	12（9）	
秋常山	1（1）			1（1）		2（2）	
西　山			18（13）			18（13）	2群（2群）
計	2（2）	3（3）	39（33）	3（3）	15（3）	62（44）	

※（　）内の数字は現存数

継続的な築造

能美古墳群は3世紀半ばから6世紀終わり頃の約 350 年間にわたって造られました。古墳時代を通じて継続的に築造される古墳群は北陸では珍しく、さらに、28 次に及ぶこれまでの発掘調査によって内容がわかる古墳も多く、立地や墳丘、埋葬施設、副葬品などの変化を細かく追うことができます。

また、弥生時代の終わり頃には丘陵上に集落や墓地が営まれており、弥生時代の人々の生活から、やがて古墳が出現していく過程もうかがうことができます。



能美古墳群の変遷

さまざまな形と大きさの古墳

古墳の基本的な形である前方後円墳、前方後方墳、円墳、方墳がそろっており、140mの前方後円墳を最大に、10m程の小さな円墳まで見られます。形と大きさで首長たちの権力の大きさや出自の違いを表しています。

秋常山古墳群
北陸最大級の前方後円墳である１号墳（140m・４世紀末）と埴輪を持つ方墳である２号墳（一辺約 30m・５世紀半ば）の２基からなる古墳群です。１号墳の墳丘斜面には「葺石（ふきいし）」と呼ばれる 40 万個もの川原石が並べられ、かつて強大な力をもつ首長がこの地にいたことを示しています。

末寺山６号墳
〔前方後方墳・57m・４世紀前半〕

和田山５号墳
〔前方後円墳・55m・５世紀後半〕

西山 13 号墳
〔円墳・20m・６世紀前半〕

和田山１・２号墳
〔円墳・20m・６世紀前半〕

多様な埋葬施設

古墳の主が眠る埋葬施設にもさまざまな種類を見ることができます。木の棺をそのまま納めた木棺直葬から、木棺を粘土で保護した粘土槨、木材と粘土で空間を造った木造粘土被覆室（横穴式木室）、凝灰岩の巨石を積み上げた切石積横穴式石室など、時期的な変化や首長たちの力の大きさに対応した様相がうかがえます。

和田山５号墳〔粘土槨・５世紀後半〕
２つの粘土槨が並んで発見されました。

西山８号墳〔切石積横穴式石室・６世紀後半〕
凝灰岩を加工して積み上げた埋葬施設です。

豊富な出土遺物

墳丘や埋葬施設から、1000 点にのぼる多量の遺物が出土しています。土器、埴輪、玉類、鏡、武器・武具類、農工具、馬具など種類も多岐にわたり、北陸唯一の副葬品も含まれるなど、能美古墳群に眠る首長たちの生前の姿や当時の文化を今に伝えています。

和田山 23 号墳
周溝から約 50 点の須恵器が祭壇状に並べられて出土しました。

和田山 23 号墳
刻書須恵器

「未」、「二年」と刻まれた国内最古の刻書須恵器です。

◀寺井山６号墓　鉄製武器

和田山９号墳
素環頭大刀・玉類

秋常山２号墳
副葬品・墳丘出土遺物

和田山１号墳
六鈴鏡

和田山２号墳
鈴付銅釧

２点とも北陸唯一の副葬品です。

西山９号墳
馬具（馬鐸・鈴杏葉）

和田山５号墳　鉄製武器・武具・農工具類